

小田原市文化振興審議会 第3回書面会議概要

1 開催期間 令和3年2月22日（月）～3月5日（金）

※緊急事態宣言発令中であることから、書面会議として開催。

2 委員

杉本委員、吉田委員、大石委員、関口委員、木村委員、萩原委員、外郎委員、鈴木委員、池田委員、浅井委員

3 書面会議の概要

(1) 議題

- ・「文化によるまちづくり条例の基本計画(骨子案)について」
第2回審議会での意見に基づき、基本計画骨子案を修正。

【各委員からの意見等】

A委員

- ・子どもたちへの文化意識をどう高めるか・満たすかの重要性を強く感じた。まちづくりの理念を次なる世代へつなげて欲しい。

B委員

- ・市民に親しみやすい基本計画として発表できると、今後の文化の発展と定着につながるのではないかと。

C委員

- ・市民ホールが老若男女、障害があるなしに関わらず、誰でも集える公共施設として稼働率を上げるためには、誰でも無料で参加できる、文化的な体験の機会を継続的に提供することが必須だと思う。
- ・子どもたちの記憶に残る企画を検討し、運営していただきたい。

D委員

- ・計画策定に当たり、文化の現状評価があってもいいのでは。
- ・庁内の各部署が連携することは当然であり、もう一步踏み込んだ記述を望む。

E委員

- ・文化の中で、食は重要な要素である。具体的な施策の中に、食関連の施策があってもいいのではないかと。
- ・SGDsは、まちづくりの基本となるべき思想であるので、本計画全体に係る計画（例えば第3章）の中で語られるべきだと思う。

F委員

- ・第1章の多彩な文化について、記述量や表現に、ばらつきや違和感を覚える箇所がある。